

国際交流：学生の海外派遣成果の公表

(2020.5.1現在)

担当部署	プログラム名	参加者数 (2019年4月1日～2020年3月31日に開始した日本国籍者)	主な留学先	期間	教育研究活動内容	認定単位の方法	認定単位数（実績）
国際センター	協定校派遣留学	83名	アメリカ イギリス カナダ オーストラリア アイルランド ドイツ フランス イタリア スペイン フィンランド ポーランド ハンガリー ロシア 中国 中国（香港） 台湾 韓国 マレーシア タイ インドネシア	4～10ヶ月	参加学生は原則として留学先では本学での専攻分野の科目を履修する。本学で得た学びを基に留学先で専門分野を学ぶことで、その分野の知識を発展・飛躍させ研鑽を積む。参加学生は本学で学んだ知識を活かし、留学先でさらに高度な専門科目を履修することで専門性を高め、帰国後の研究や卒業論文において高いレベルの成果を生み出している。また派遣留学先が許可する範囲で、留学先でしか学べない知的な好奇心を伸長させる科目を履修することも認めており、多様な知識を身に付けグローバルな視野を広げる。本学として学部生においては1学期で12単位相当、大学院生は9単位相当以上の単位を修得することを義務付けており、修得単位数としては学生はこの達成目標に向かって勉学に励むこととなる。また、帰国後には帰国報告会にて自身の留学体験をプレゼンテーションし、更に帰国レポートを提出することを義務付けており、同レポートは国際センターウェブサイト及び留学ガイドブックに掲載している。また、本学のオープンキャンパスや在学生を対象とした留学セミナーにおいて、留学体験を発表する機会を設けたり、学内システムで各種イベント情報の配信を行っている。	各学生の修得単位数、授業時間数、成績等を成績証明書に基づいて判断し、認定単位数を決定している。	2～32単位
国際センター	海外語学・文化研修	108名	アメリカ イギリス カナダ オーストラリア ロシア	3～6週間	研修開始前にプレテストを受験し、能力に応じた語学プログラムで「話す、聞く、読む、書く」といった語学の技能を多面的に学ぶ。各研修では、課題作成、プレゼンテーション、試験などが課され、修了式を経て修了証が授与される。また文化研修として、人的交流や異文化理解のための実地研修を行っており、語学力の向上だけでなく、それぞれの国の文化や社会に対する国際的な視野を広げる。帰国後には帰国アンケートを提出することを義務付けており、研修成果等の振り返りを行っている。	所定の条件（出席率、成績など）を満たすことにより、本学教養科目の「海外語学・文化研修」（2単位）において単位認定の対象となる。研修参加翌年度前期に学生が本科目の履修登録を自ら行うことで、2単位の修得ができる。	2単位